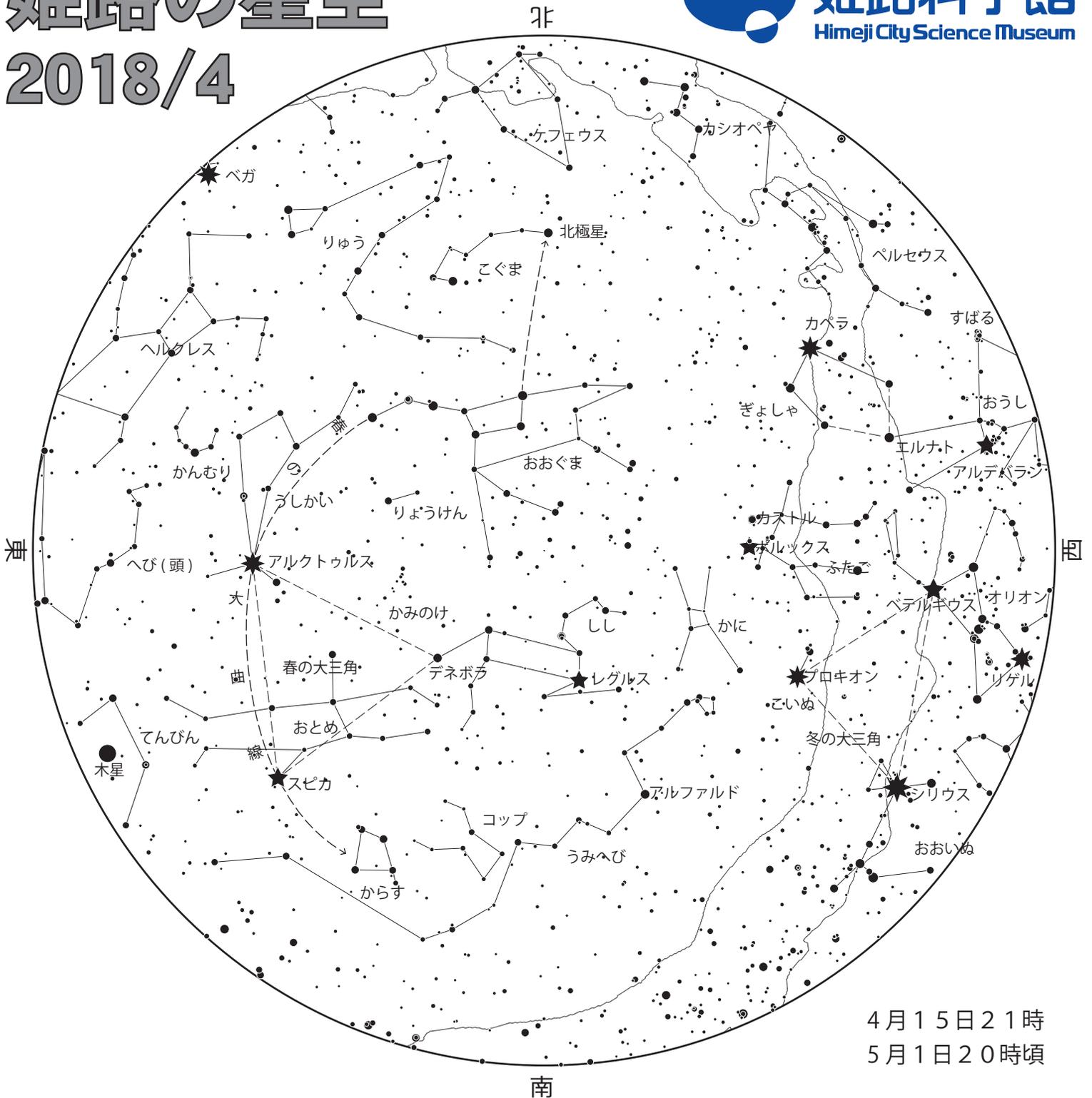


# 姫路の星空

## 2018/4



姫路科学館  
Himeji City Science Museum



4月15日21時  
5月1日20時頃

冬の星座は西に傾きましたが、**おおいぬ座**のシリウス、**こいぬ座**のプロキオン、**オリオン座**のベテルギウスを結んだ冬の大三角がまだめだちます。ベテルギウスの下にはオリオン座の星たちがリボンのように並んでいます。オリオン座の右側には、**おうし座**のアルデバランや星の集まり「すばる」が見つかります。おうし座の右上（北側）の五角形**ぎよしゃ座**ではカペラが目立ち、オリオンの上には**ふたご座**のカストル、ポルックスがなかよくなっています。

頭上から東にかけて、春の星座の星が見えています。南の空高くには、**しし座**があります。？をうらがえした姿と1等星のレグルスが目印です。北東の空高くには北斗七星が見えます。北斗七星からは北極星を探せますよ。北極星は方位磁針を使うより正確に北を確かめられるので、家の前での北極星の見え方をおぼえておきましょう。北斗七星は**おおぐま座**の腰からしっぽの星たち、北極星は**こぐま座**のしっぽの先の星です。クマのしっぽを伸ばした先、春の大曲線を辿ると、**うしかい座**のアルクトゥルス（クマの番人）、**おとめ座**のスピカ（とがったもの）、そして、**からす座**があります。アルクトゥルス、スピカ、しし座のデネボラを結ぶと春の大三角になります。

南東の空には、木星が見えるようになりました。夏にかけて、望遠鏡で見頃を迎えます。